

水田内雑草の適正防除による アカスジカスミカメ対策について

～ カヤツリグサ科雑草やノビエが多いほ場では、
アカスジカスミカメが多発します ～

1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

斑点米カメムシ類の主要種であるアカスジカスミカメ（以下「アカスジ」という）は、ホタルイ類等のカヤツリグサ科雑草やノビエ（以下「雑草」という）の穂に産卵し増殖する。そのため、水田内で雑草が繁茂すると水田内へのアカスジの侵入が助長され、多発の原因となる。

実際、イネの出穂前に水田内で繁茂した雑草にアカスジが多数確認されており、昨年8月1～2半旬の抽出ほ場調査では、水田内に雑草があるほ場でアカスジが多く（表-1）、水田内雑草の密度は年々高まっている（図-1）。

そのため、昨年と同様に水田内で雑草が繁茂した場合、アカスジの多発が懸念されるため、以下により雑草の適正防除に努める。

2. 防除対策

- 1) 水田内へのアカスジの侵入を防ぐため、適期に適切な除草剤を使用し水田内のカヤツリグサ科雑草やノビエの防除を徹底する。
- 2) 水稲作付規模が大きい経営体では、移植と除草剤散布を計画的に作業し、除草剤散布が遅れないようにする。
- 3) 雑草が残った場合は、適期に草種に応じた中・後期除草剤を使用し、雑草の開花・結実を抑制する。

3. 資料

表-1 水田内雑草の発生状況別の斑点米カメムシ類すくい取り数^{※1}（2018年8月1～2半旬）

雑草の発生状況 （カヤツリグサ科雑草・ノビエ）	雑草発生状況 別地点率（%）	アカスジカスミカメ（頭）	アカヒゲホソミドリ カスミカメ（頭）
1本/m ² 以上	16	5.9	1.2
1本/m ² 未満	28	0.4	0.4
発生無し	56	0.8	0.8

※1 水田内20回すくい取り調査

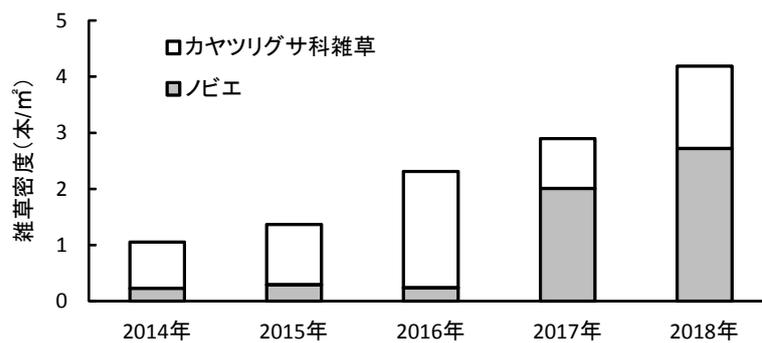


図-1 水田内におけるカヤツリグサ科雑草とノビエ密度の年次推移(8月1～2半旬)

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660

秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326

掲載HP <https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>